

仕様書

LMシステムに関する
通信回線サービスの提供

1 案件概要

1.1 件名

LMシステムに関する通信回線サービスの提供

The procurement of Wide Area Network service for “LM System”

1.2 背景と目的

ゆうちょ銀行（以降、「当行」という。）において使用している、LMシステムが2026年1月に更改となるため、請負人にLMシステムに関する通信回線サービス（新たな通信回線の構築及びその運行・保守サービスをいう。以下同じ。）の提供を請け負わせる。

1.3 通信回線サービス提供期間及び前提事項

1.3.1 通信回線サービス提供期間

通信回線サービス提供期間は契約締結日からから2030年12月31日までの6年3か月とする。

1.3.2 前提事項

- (1) LMシステムは、当行東日本貯金事務計算センター（以降、「東KC」という。）およびAWS 東京リージョンに構築されているシステムである。
- (2) LMシステム端末は、後述「4.1 アクセス拠点」に記載するゆうちょ銀行本社及びLMシステムのシステムベンダオフィスに設置されている。
- (3) 後述「4.1 アクセス拠点」に記載するアクセス拠点間は仮想閉域網を経由して接続されている。
- (4) 提供される通信回線サービスは後述「4.2.2 伝送方式及びセキュリティ」に記載するセキュリティ措置を確保する。
- (5) 通信回線が大規模災害の被害に遭う場合を想定した災害対策を実施する。

- (6) 請負人は、最低でも 2024 年 10 月 1 日から 6 年 3 か月以上継続して当行が運行・保守サービスを利用することを想定して、通信回線を構築する。

1.4 更改後のネットワーク構成
更改後のネットワーク構成

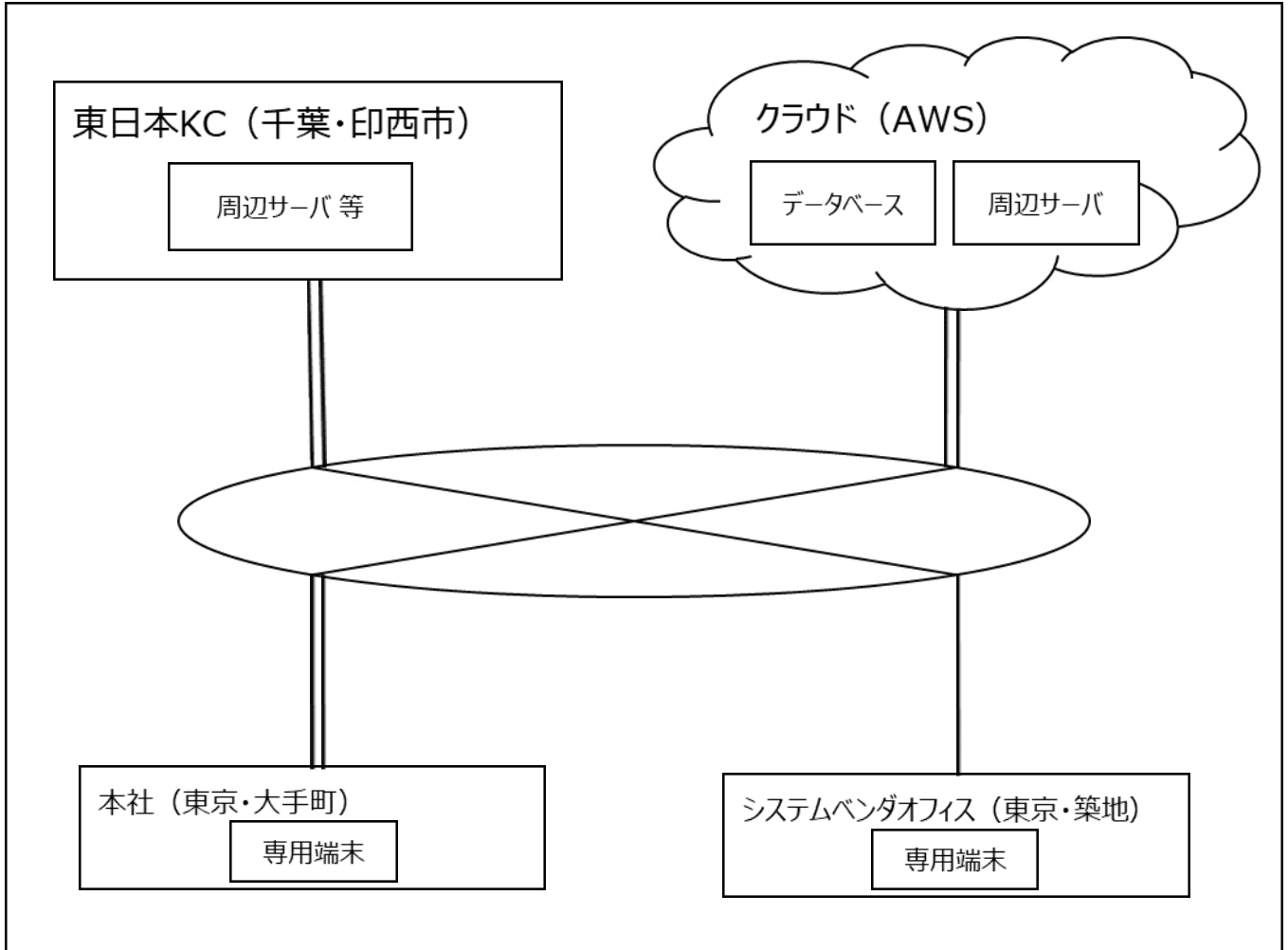


図1 更改後のネットワーク構成図

1.5 通信回線サービスの提供に関する調達の範囲等

通信回線サービスの提供に関する調達（以降、「本調達」という。）の範囲は、設置する回線終端装置から回線終端装置（終端同一）までとする。

アドレス設計はLMシステムベンダ側で実施する。責任分界点は「図 2 責任分界点」に示すとおり、回線終端装置のスイッチ側のポートまでとする。

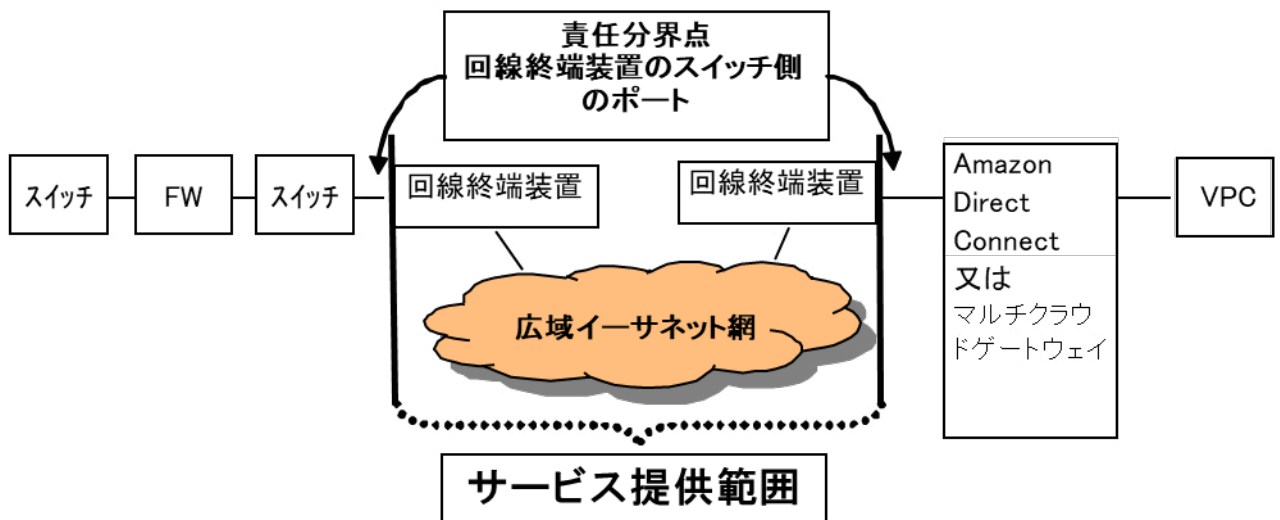


図 2 責任分界点

1.6 スケジュール

現在想定しているスケジュールは以下のとおり。

2023年11月 意見招請

2024年6月 競争入札、契約

2024年10月 導入

2 請負人に求める要件

2.1 導入実績

請負人は、国内金融機関向けシステムの通信回線サービスの提供を3件以上有すること。

2.2 体制

当行との調整、照会及び回答等を行う者は、日本語で十分な意思疎通が行えること。

3 契約事項

3.1 本件業務の内容

通信回線サービスの提供において、以下の作業を請負人が行うものとする。なお、サービス要件の詳細は後述「4 サービス要件」で定める。

3.1.1 本件業務に係る各種作業

(1) 設計構築実施計画書の作成

通信回線構築着手前に、請負人及びゆうちょ銀行営業部門デジタル戦略部リテールマーケティング室（以降、「主管担当」という。）間でスケジュール、ネットワーク機器仕様及び設定内容等相互に共有すべき事項を明確にするため、通信回線構築についての「設計構築実施計画書」（以降、「計画書」という。）を作成する。

(2) 計画書のレビュー

主管担当に対し、計画書の説明を行う。なお、当該説明は対面の方法により行うものとし、LMシステムベンダも同席の上、スケジュール、ネットワーク機器仕様及び設定内容等の確認を行う。確認の結果、必要が生じた場合は計画書の修正等を行う。

(3) 現地調査

新規通信回線を敷設するにあたり、必要に応じて、後述「4.1 アクセス拠点」の建物を訪問し、整備工事の必要の有無を判断するための現地調査を実施する。

(4) 通信回線構築設計

本仕様書、計画書及び現地調査結果に基づき設計を行う。

(5) 建物内配管等の施設工事

現地調査の結果、建物内配管等の施設工事の必要が生じた場合、速やかに主管担当に必要性及び工事内容を通知する。なお、当該工事については本調達範囲外とする。

(6) 通信回線の敷設

後述「4.1アクセス拠点」に記載する各拠点の指定のフロアに通信回線を敷設する。ただし、既に敷設済みの余剰回線がある場合、これを流用することも可能とする。また、建物内へ引き込む通信回線の経路において、ケーブル敷設工事等が必要な場合は、請負人にて実施する。

(7) 回線終端装置等サービスに供する機器の設置

後述「4.1アクセス拠点」に記載する各拠点に回線終端装置を設置する（ただし、AWS東京リージョンを除く。）。

(8) テスト

計画書の内容に従ってテスト項目案を作成し、主管担当に提出の上、主管担当がレビューを行った内容にてテストを実施する。

請負人は通信回線構築完了後に回線構築完了報告書を作成し、主管担当に提出の上、レビューを実施する。

(9) 運行・保守サービス

通信回線の品質を担保するため、後述「3.2 保守サービス」記載のとおり保守サービスを実施の上、運行結果報告書（月次）を作成し、主管担当に提出する。

3.1.2 納入物及び報告物

(1) 納入物及び納入期限

請負人は、納入物として以下のものを納入するものとする。

設計構築実施計画書：1式	【納入期限】：2024年9月30日
テスト項目案：1式	【納入期限】：2024年9月30日
回線終端装置：1式	【納入期限】：2024年10月31日

(2) 報告物及び提出期限

請負人は、履行完了の届出として以下の報告物を提出する。提出に関して必要となる媒体等は、請負人において用意する。その際、報告物は日本語で記載する。

- ・ 運行結果報告書（月次）：1式 【提出期限】 翌月10日
- ・ 回線構築完了報告書：1式 【提出期限】 2025年4月30日

(ただし、通信回線の構築の履行期限は2024年10月31日とする。)

(3) 納入場所及び提出場所

主管担当

〒100-8793 東京都千代田区大手町二丁目3番1号

3.2 運行・保守サービス

3.2.1 運行・保守サービス提供期間

運行・保守サービス提供期間は通信回線の構築完了の翌日から2030年12月31日までの6年3か月とする。

通信回線サービス提供期間終了後の通信回線撤去作業等の事後作業については、通信回線サービス提供範囲に含めるものとする。

3.2.2 定期保守

定期保守が必要な場合は、原則として通信回線による通信を遮断せずに作業を実施する。具体的な内容については、請負人決定後に主管担当と協議のうえ決定する。

3.3 保守費用に影響を与える事象が発生した場合の措置

保守費用に影響を与える事象が発生した場合は、本契約書第3条第2項の規定にかかわらず、主管担当と協議のうえ、契約変更にて対応する。

4 サービス要件

4.1 アクセス拠点

通信回線のアクセス拠点は下記のとおり。住所(AWS 東京リージョンを除く。)については、問い合わせを行った者にのみ通知する。

- ・ 東K C
- ・ ゆうちょ銀行本社
- ・ LM システムのシステムベンダオフィス
- ・ AWS 東京リージョン

4.2 通信サービス

4.2.1 データ通信帯域

- (1) ゆうちょ銀行本社と仮想閉域網を結ぶデータ伝送回線主系は 1Gbps の帯域確保、データ伝送回線副系は 100Mbps の帯域確保の 2 回線冗長化構成とする。
- (2) 東K Cと仮想閉域網を結ぶデータ伝送回線主系は 10Gbps の帯域確保、データ伝送回線副系は 1Gbps 以上の帯域確保の 2 回線冗長化構成とする。
- (3) AWS 環境と仮想閉域網を結ぶデータ伝送回線主系は 10Gbps の帯域確保、データ伝送回線副系は 1Gbps 以上の帯域確保の 2 回線冗長化構成とする。
- (4) システムベンダオフィスと仮想閉域網を結ぶデータ伝送回線は 100Mbps の 1 回線構成とする。
- (5) アクセス回線は、主系と副系で提供事業者を分割する。また、仮想閉域網と AWS 環境間のアクセス回線は異ルート・異サイトの冗長化も可能とする。
- (6) データ伝送回線主系については、稼働率(請負人の提供する回線終端装置までを含む範囲) 99.9%以上を確保する。

4.2.2 伝送方式及びセキュリティ

- (1) データ伝送方式については、光ファイバーケーブルを用いた、イーサネット方式とする。
- (2) データ伝送回線については、光ファイバーケーブルの物理的な切断時や中継装置等の故障等においても、サービスを継続できるようにする(ただし、システムベンダ拠点-仮想閉域網間は単回線のため本要件の対象外とする。)
- (3) 外部からの不正アクセスが不可能なセキュリティを持つネットワークとする。
- (4) 中継局等のネットワークの設定変更や情報詐取の恐れのある場所は、入室退室の認証機能等によりセキュリティを確保する。
- (5) ネットワークの設定を変更できる権限を持つ者により管理が行われるものと

する。

4.2.3 回線終端装置

回線終端装置は、当行が指定するラック（以降、「本件ラック」という。）に設置する。また、回線終端装置の稼働のために必要な電源の供給は、本件ラック内から行うことができる。回線終端装置の機器仕様については、システムベンダと調整の上、決定する。

4.3 監視

- (1) 本調達における通信回線の各拠点まで請負人側にて監視ができる構成とするものとする。請負人は、24時間監視を行い、異常が認められる場合は直ちに復旧にあたるものとする。

請負人は、障害の発生連絡及び復旧連絡は速やかに行うものとし、休日や夜間等のため連絡が出来なかった場合は、翌営業日に事後連絡を行うものとする。
- (2) 主系回線について、トラフィック及び回線の状態を、主管担当がWEB上にて確認できるようにする。

5 その他

5.1 細部依頼事項

本件業務の内容に関する細部については、主管担当が依頼するものとする。

5.2 業務従事者の管理

業務従事者に対する作業の指示、労務管理、安全衛生管理等に関する指揮命令は、すべて請負人の責任において行うものとする。

5.3 照会先

本書に関する照会先は以下のとおり。

担当：株式会社ゆうちょ銀行

営業部門 デジタル戦略部リテールマーケティング室

所在地：100-8793 東京都千代田区大手町二丁目3番1号

電話：03-3477-2012